

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

姉妹校・河北医科大学代表団が来学

創立者の偉業と長年にわたる両大学の友好関係を称え 矢ヶ崎理事長に「河北医科大学口腔医院名誉院長」の称号贈る

中国の河北医科大学の代表団が5月24日（水）に本学を訪問し、コロナ禍の影響でしばらく見合わせていた対面交流が再開された。本学は役員や教員、河北医科大学の卒業生、そして中国籍の留学生らが熱烈歓迎した。河北医科大学からは矢ヶ崎雅理理事長に「河北医科大学口腔医院名誉院長」の称号が贈られ、これまでの功績が称えられた。今回の訪問は、両大学の姉妹校締結後、35年以上にわたる友好関係の再構築を図るための重要な一歩となった。

河北医科大学の代表団は、倪鉄軍（ライ・テツジュン）党委副書記をはじめ、李増寧（リ・ジュンネン）口腔医院党委書記、張瑞麗（チヤン・ジュイリ）看護学院院长、張奇（チヤン・キ）国際合作交流処処長、趙琛（チヤウ・チン）口腔医院修復科教授のメンバー5名で構成され、本学を訪れた。

また、

代表団は到着直後、松本歯科大学の創立者である矢ヶ崎康先生の銅像に向かい、河北医科大学及び河北医科大学研修生一同からの感謝のメッセージを記した感謝のスタンド花を捧げた。

記された「両校友好先駆者」と「徳厚流光、銘感不忘」（両校の友好の先駆者であられる創立者の矢ヶ崎康先生は人格が高く、年月が経ってもその恩情を深く心に刻んで忘れない）という

倪党委副書記から矢ヶ崎理事長に「河北医科大学口腔医院名誉院長」の称号が贈られ、これまでの功績が讃えられた。矢ヶ崎理事長は謝辞を述べ、「代表団の皆さんの訪問を心待ちにしていました。両大学の友好関係を今後さらに発展していくことを願います」とあいさつした。また、河北医科大学の関係者も「松本歯科大学との対面交流再



河北医科大学より贈られた生花の前の代表団 献花立札の「両校友好先駆者」（左）と「徳厚流光、銘感不忘」は、両校の友好の先駆者であられる創立者の矢ヶ崎康先生は人格が高く、年月が経ってもその恩情を深く心に刻んで忘れない

チームプレーに参加者一丸 学年を超え笑顔あふれる

第34回体育祭

第34回体育祭が5月13日（土）、本学陸上競技場で行われた。歯学部学生や衛生学院生、教員など約150人が参加し、チーム対抗方式で玉入れや綱引き、リレーなどの種目を楽しみ、学年の枠を超えて交流した。



力が入った綱引き（写真部撮影）

開会式で宇田川信之歯学部長は「歯学部、衛生学院の皆さん、きょうはよいコミュニケーションを図れる機会ですので、競技を通して一日楽しく過ごしましょう」とあいさつ。3年連続で体育祭実行委員会委員長を務めた第5学年の伊藤公平君が、一日の流れや注意事項などを説明

した。実行委員長の伊藤君は開会前、取材に訪れた地元ケーブルテレビのインタビュアーを受け、雨のため体育館での開催となった昨年を思い出しながら「今年は広いグラウンドでできる」と喜び、「1年生も先輩も一緒にあって、今後につながるような人間関係をつくれる体育祭にしたい」と話していた。

したあと、全員でラジオ体操で準備運動をして競技に入った。学生たちは赤、黄、紫、オレンジの色別4チームに分かれて、玉入れ、部活対抗リレー、チーム対抗綱引きなどの種目に取り組んだ。始めは緊張気味だった新入生も、プログラムが進むにつれてリラックスした表情になり、学年の枠を超え、参加者一丸となって健闘をたたえ合い、笑い合った。

玉入れでは、テニス部が用意された玉全てを籠に投げ入れてパーフェクトゲームを達成。部活対抗リレーは、サッカー部が俊足自慢を揃え、1位を獲得した。チーム対抗リレーでは、樋口大輔病院長ら補綴科の先生方も学生に交じり力走し喝采を浴びた。体育祭を締めくくると全員参加の「〇×クイズ」では「大学内を稼働している自動芝刈り機の台数」などの出題があり、東京デイズニールゾートのチケットや、アップル社製のイヤホン、任天堂のゲーム機などの豪華賞品が当たるとあって、一問ずつ参加者が絞られていくにつれ、一段と盛り上がりを見せた。



チーム対抗リレー（写真部撮影）

開は喜ばしいことであり、両大学が互いの強みを生かし合いながら、より高い学術水準と国際



病院インプラントセンターを視察する代表団

持っていた。この視察は両大学

が期待される。

的な競争力を獲得するために協力していくことを期待しています」とコメントした。

の間で最新の設備や施設についての知識を共有し、さらなる協力の可能性を模索する貴重な機会となった。

（総合歯科医学研究所 准教授 楊静

私は、誰が政治家になろうが構わない。

内閣官房参与
松本歯科大学常務理事
特命教授
飯島 勲

今月号は『プレジデント』6月16日号「リーダーの掟 飯島勲」より、地方議会の改革と議員候補者の質の向上についての記事を要約して紹介します。

統一地方選挙と衆参補欠選挙も終わり、永田町では、「解散総選挙はいつか」という話題が聞こえてくるようになった。G7サミットが終わって解散風はさらに強まるかもしれない。

また、維新の躍進によって、

相も解散の時期を見極めるのが

野党共闘の路線がなくなったこ

とも、与野党勢力にとつては、

有利となるか不利となるかは、

読みづらいところだ。いずれに

せよ、6月12日の国会会期末後、

政局は大きく動くことになる。

しかし、4月の選挙を終えて、

もつと深く考えなければならな

いことがあると思う。全国各地

の町村議員選挙で、立候補者数

が定数を超えない選挙区が続出

し、計1250人が無投票で当

選となった問題である。そのう

ち、20選挙区では立候補者が定

数に満たずに、全員当選しても

議院が定数割れという事態にな

っている。

国会議員の選挙区について

は、1票の格差が論じられる機

会も多く、憲法に添うものかど

うかと裁判も行われて、たびた

び見直されている。この機会に、

地方議会においても、選挙区や

区割りを見直すべきではないだ

ろうか。地方議会は民主主義の

基本であり、一日も早い改革

が必要だ。

制度だけではなく、候補者の

「質」についても考えるべきだ。

仮にコロナ禍で職を失ったフリ

ターが、地方議員の定数割れ

のニュースを見て、候補者が不

足しそうな町に移住したら、あ

つさり無投票で当選することも

ありえる。現在の地方選挙の制

度は、選挙の洗礼も受けずに、

なんの政策の準備もない、ただ

生計を立てるために立候補した

議員を誕生させてしまうのだ。

有権者は地方議員に対して

も、きちんと行動を見守ってほ

しい。

日本

の

性

が

男

性

と

同

じ

い

る

。

北

欧

の

よ

う

に

も

と

多

く

の

女

性

が

社

会

に

出

て

活

躍

し

て

い

る

。

定

は

妥

当

な

の

だ

ら

う

か

い

る

。

古

い

話

だ

が

、

1

9

8

9

年

の

参

院

選

で

日

本

社

会

党

の

女

性

候

補

者

が

数

多

く

当

選

した

「

マ

ド

ン

ナ

旋

風

」

を

思

い

だ

し

た

。

当

時

の

土

井

風

」

を

思

い

だ

し

た

。

た

か

子

社

会

党

委

員

長

の

「

山

が

動

い

た

」

と

い

う

発

言

と

も

に

記

憶

に

残

っ

て

い

る

人

も

多

い

だ

ら

う

。

そ

の

年

の

4

月

に

導

入

さ

れ

た

消

費

税

へ

の

反

対

を

掲

げ

て

、

政

治

に

関

す

る

知

識

が

ほ

と

ん

ど

な

い

議

員

が

誕

生

し

て

し

ま

っ

た

。

結

局

、

有

権

者

の

期

待

は

裏

切

ら

れ

て

、

次

の

選

挙

で

多

く

の

議

員

が

議

席

を

失

う

こ

と

に

な

っ

た

。

ま

た

、

こ

の

時

の

経

験

で

、

日

本

の

有

権

者

の

中

に

人

気

優

先

の

女

性

候

補

者

に

対

す

る

不

信

感

の

理事会報告

2022年度事業報告、決算等を承認

学校法人松本歯科大学の第206回理事会および第148・149回評議員会が5月25日（木）、本部館3階会議室で開催され、2022年度事業報告ほか各議案を審議、いずれも満場一致で承認可決された。

【会議事項】

1. 2022（令和4）年度事業報告について

2022（令和4）年度決算について

寄附金品の受納について

任期満了にともなう監事の選任について

学校法人松本歯科大学諸規程の一部改正等について

2022年度事業報告概要

Ⅰ. 教育・研究

歯学部
- ①歯学部教育の質の保証と向上

進級判定、卒業判定ともに判定基準を明確にし、厳格な成績判定を実施した。

各学年に学年主任と補佐を5〜7人程配置し、修学状況の把握、学習及び学生生活の相談に応じ、サポートした。また、科目・授業担当者にはオフィスアワーの設定を義務付け、授業等の質問に個別に対応した。

学生イントラネットに授業資料やウィークリーテストの問題・正答を掲載し、4〜6年生に対しては、スマートフォン端末を用いた学習システムを運用した。

FDを2回開催し、教員の教育力の強化に努めた。

②退学者、除籍者の低減

各学年に学年主任と補佐を5〜7人程配置し、学生の修学状況の把握、学習及び学生生活の相談に対応し、学生をサポートした。

・学生相談室に非常勤カウンセラーを配置し、月2〜3回、1回あたり2時間、年32回実施し、様々な心理的問題に対応した。

・義務付け、授業等の質問に個別に対応した。

④現役学生の歯科医師国家試験合格者の向上

・厳格な成績判定、学年主任制度によるサポート体制の強化等、入学から卒業までの一貫したシステム整備により、第116回歯科医師国家試験・現役学生（新卒）の合格者は54人、合格率93.1％を達成した。

・研究者を招き大学院セミナーを14回開催し、大学院生の能力向上と併せ大学院担当教員の研究活動の活性化を図った。

・企業主催の進学相談会に14回参加し、進学相談会への参加者は31人であった。

・一日体験入学については、6月と7月、2回開催した。

・合格者が入学定員に達したため3回目以降の入試は中止した。

入学定員充足率は100％であった。

②優秀な入学者の確保

・実習生の積極的な診療参加のための指導体制を整備した。

・健診センター受診者数の増加のための改革案を作成し、施設、人員の調整を行い、パンフレットを作成して、病院内で配布した。

・各学年に学年主任と補佐を5〜7人程配置し、学習及び学生生活の相談に応じ、サポートした。授業担当者にはオフィスアワーの設定

・大学院生歯学部独立研究科・総合歯科医学研究所

①大学院の入学定員充足率向上

・大学院学生募集要項と願書等の出願書類は、PDF版を大学ホームページに掲載し、効率化を図った。

・歯学部第6年生と臨床

・標準修業年限での学位取得は9人、論文提出による学位取得者は2人だった。

①社会のニーズを踏まえた歯科衛生士の育成

・第1学年より医療従事者の

①病棟・診療

・医師、歯科医師の認定医、指導医、専門医について取得状況調査を行い、診療科長については、病棟入り口の診療科案内に記載した。

・各科の経費率表を2021年と同様に提示し、現場の職員にも周知することにより医療支出の削減、医療収入の向上を目指す。

②病棟・診療

・病棟全体の患者数は前年度比4.0％減、診療実績は前年度比10.5％減となった。

・大学院生募集要項と願書等の出願書類は、PDF版を大学ホームページに掲載し、効率化を図った。

・歯学部第6年生と臨床

④大学教員、研究者の養成

・ティーチング・アシスタントとして大学院学生1人を採用し、教育・研究指導者となるためのトレーニングの機会を提供し、経済的な支援を行った。

⑤学位授与状況

・標準修業年限での学位取得は9人、論文提出による学位取得者は2人だった。

①社会のニーズを踏まえた歯科衛生士の育成

・第1学年より医療従事者の

①病棟・診療

・医師、歯科医師の認定医、指導医、専門医について取得状況調査を行い、診療科長については、病棟入り口の診療科案内に記載した。

・各科の経費率表を2021年と同様に提示し、現場の職員にも周知することにより医療支出の削減、医療収入の向上を目指す。

②病棟・診療

・病棟全体の患者数は前年度比4.0％減、診療実績は前年度比10.5％減となった。

在学学生22人が
栄誉の受賞
歯学部学生表彰授与式

2023年度の歯学部学生表彰授与式が5月25日（木）、創立30年記念棟の「常念岳」で行われた。前年度に優れた成績を収めた学生計22人を表彰し、努力を称えた。

最高賞である「矢ヶ崎 康特別賞」は、前年度の成績が平均点90点以上で、学年の成績順位1位の学生を、学年ごとに選出する。「矢ヶ崎 康賞」も学年ごとで、平均点80点以上で学年成績上位3人が対象となる。「スポーツ賞」と「活動賞」はそれぞれの分野で功績のあった学生に贈られる。

本年度は、成績が大幅に向上した学生を対象とする「奨励賞」の受賞者はいなかった。

式で矢ヶ崎 雅理事長は、本学が歯科医師国家試験3年連続全国第2位となったことを振り返り「今の学生は素晴らしい。4600人いる卒業生の励みです。皆さんのリーダーシップあつてのことだと思えます」と称えた。その上で「6年間はあつという間です。しっかりと学んで知識を吸収し、学業のトップを目指してください」と励ました。

川原一祐学長は「平均点90点、80点の勉強ができるのは健康であればこそです。学生活動で表彰を受けた人も、健康あつてこそ受賞したと考えることが妥当です。どうか健康に留意して、さらに頑張ってください」と、一層の飛躍に期待した。

各賞の受賞者

◆矢ヶ崎 康特別賞
前田 風華（第5学年）
三野 耀執（第4学年）

◆活動賞

伊藤 公平（第4学年）
2022年度文化連絡協議会委員長

◆矢ヶ崎 康賞

武井 祐太（第3学年）
佐藤 瑠海（第2学年）
木ノ島 旺（第1学年）
葛 上瑄（第5学年）
小嶋 嘉子（〃）
松浦 宏季（〃）
朴 漢洙（第4学年）
郭 健好（〃）
福島 英子（〃）
馬 維形（第3学年）
箕浦史絵菜（〃）
田口 雄大（〃）
野崎 優（第2学年）
張 眞浩（〃）
廖 翎妃（〃）
上條 晃生（第1学年）
五十子夕萌（〃）
大塚 快人（〃）
◆スポーツ賞
井口 創太（第4学年）
第55回日本歯科学生体育連盟評議員
2022年度体育連絡協議会委員長
第33回体育祭実行副委員長
伊藤 公平（〃）
第33回体育祭実行委員長



表彰を受けた学生たち

令和4年度資金収支計算書および令和5年度予算書
(令和4年4月1日~令和5年3月31日) (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(単位 円)		
収入の部		
科 目	令和4年度決算	令和5年度予算
学生生徒等納付金収入	2,150,679,320	2,100,740,000
手数料収入	17,987,739	17,000,000
寄付金収入	17,710,000	18,000,000
補助金収入	299,092,253	264,000,000
資産売却収入	2,700,740,970	0
付随事業・収益事業収入	1,583,436,240	1,670,000,000
受取利息・配当金収入	178,118,569	200,000,000
雑収入	85,024,349	76,000,000
借入金等収入	0	0
前受金収入	207,918,200	196,000,000
その他の収入	1,195,837,350	1,186,600,000
資金収支調整勘定	△ 457,240,738	△ 470,000,000
前年度繰越支払資金	616,098,765	2,905,808,417
収入の部合計	8,595,403,017	8,164,148,417
支出の部		
科 目	令和4年度決算	令和5年度予算
人件費支出	2,507,014,882	2,390,880,177
教育研究経費支出	1,353,018,046	1,513,723,135
管理経費支出	751,152,510	825,056,162
借入金等利息支出	7,034,205	0
借入金等返済支出	0	0
施設関係支出	255,467,052	256,150,000
設備関係支出	283,679,104	338,178,000
資産運用支出	901	0
その他の支出	1,329,462,786	1,201,200,000
(予備費)		
資金支出調整勘定	△ 478,845,573	△ 470,000,000
翌年度繰越支払資金	2,587,419,104	2,108,960,943
支出の部合計	8,595,403,017	8,164,148,417

貸借対照表
令和5年3月31日

(単位 円)		
資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	13,807,355,439	16,517,876,221
有形固定資産	12,674,612,531	12,868,495,231
土地	3,908,075,598	3,908,075,598
建物	6,471,786,881	6,952,370,843
その他の有形固定資産	2,294,750,052	2,008,048,790
特定資産	105,668,913	105,667,861
その他の固定資産	1,027,073,995	3,543,713,129
有価証券	872,145,200	3,389,145,200
長期貸付金	154,928,795	154,567,929
流動資産	2,938,408,061	970,371,727
現金預金	2,587,419,104	616,098,765
その他の流動資産	350,988,957	354,272,962
資産の部合計	16,745,763,500	17,488,247,948
負債の部		
科 目	本年度末	前年度末
固定負債	1,111,726,876	1,256,353,360
流動負債	968,881,034	789,996,915
負債の部合計	2,080,607,910	2,046,350,275
純資産の部		
科 目	本年度末	前年度末
基本金	41,195,751,446	40,845,323,979
繰越収支差額	△ 26,530,595,856	△ 25,403,426,306
純資産の部合計	14,665,155,590	15,441,897,673
負債及び純資産の部合計	16,745,763,500	17,488,247,948

来て見て知って感じて！

歯学部で一日体験入学始まる

歯学部への進学に関心のある高校生や保護者などを対象にした本年度の「一日体験入学」が5月21日（日）、始まった。参加者たちは、学生が案内役を務めるキャンパスツアーで施設を見学したり、授業の雰囲気を感じたり、授業の模範授業を受けたりして、本学への理解を深めた。

本年度最初の「一日体験入学」には、国内だけでなく遠くは韓国からも合わせて14人の高校生と保護者が参加した。宇田川信之歯学部長は、創立30年記念棟に集まった参加者を前に「ようこそお越しくださいました。本日はいろいろ体験をしていただき、わからないことは何でもご質問ください」などとあいさつし、参加を大いに歓迎した。続いて教務部長の中村浩彰教授が、歯科医療や歯科医師を取り巻く状況、本学が高い合格率を維持している歯科医師国家試験の概要などを分かりやすく解説したあと、「歯の構造」をテーマに模範講義を行った。



模範授業で谷内講師の指導を受ける参加者

その後は日本人と韓国人で2班に分かれ、第6学年の山崎優さんと大学院生の金唯真さんがそれぞれ、大学生活についてスライドを使って説明。キャンパスツアーでは病院や講義館、中庭、キャンパスインを案内し、移動には一部バスを使っている。

模範授業では、入門歯科医学・谷内秀寿講師が、顎の模型に人工歯を正しく美しく埋め込む「人工歯排列」を手ほどきした。参加した高校生たちは、学生の実習と同様に白衣を着用して授

業に臨んだ。真剣な表情で取り組み「難しかったけど、面白かった」「相当練習しないとできないかもしれない」などと感想を話していた。

「一日体験入学」は本年度も10月までに全10回の開催を予定する。予約制で参加者を受け付け、学生や教員の協力も受けながら本学の魅力をアピールする。

写真部が新入生歓迎撮影会を開催

上越市水族博物館でマクロ・ミクロな世界を堪能

写真部は4月15日（土）、新入生歓迎撮影会を行い、新潟県の上越市水族博物館「うみがたり」を訪れた。

当初は長野県北部の桜の名所に行く予定でしたが、あいにくの雨天と予想以上に桜前線の北上が早く旬を逃したことから急遽、屋内で撮影可能なうみがたりに変更し、新入部員10人を含む21人で、車4台に分乗し高速道路で現地に向かいました。

うみがたりは、日本海の目前にあるガラス張り開放感のある施設でした。マゼランペンギンの展示に力をいれており、本来ならば泳いでいる姿を見られたい餌あげをしたりできたのですが、訪れた日は鳥インフルエンザの関係で中止となっていました。しかし、イルカショーやイワシの大群など撮影するには十分なブースがあり、360度がアクリルガラスの海中トンネル「うみがたりチューブ」な



新歓撮影会に参加した写真部員たち

どビートも撮影映えるスポットもありました。

期間限定で行われていた「いきものがかる造形美」という透明標本展示は、個人的に特に印象深かったです。透明標本作家の富田伊織さんが、カエルやハリセンボンなどの骨格標本に

緑のキャンパスに愛らしい歓声響く

広丘南保育園児たちが本学に「遠足」

開放的な構造となっている自然豊かな松本歯科大学キャンパスに、多くの人が散策に訪れる季節になった。5月11日（木）は近くの塩尻市広丘南保育園の3歳児クラス「すずめ組」の子供たちが、「遠足」として訪れた。子供たちは、木漏れ日を浴びながら芝生の上を走り回ったり、寝転がったりして元気いっぱい遊び、愛らしい歓声を響かせていた。

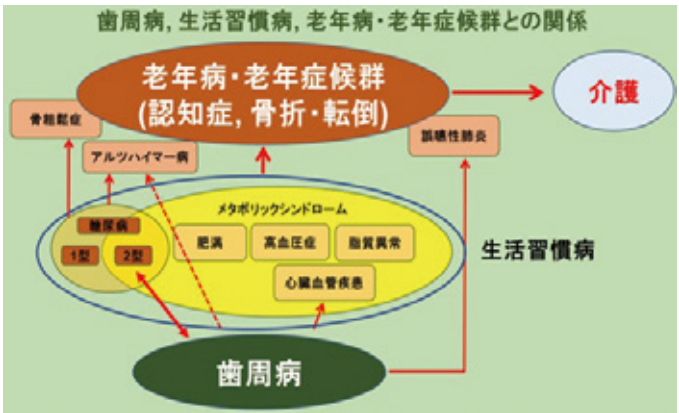
子供たちはカラフルなリュックサックを背負って、およそ1キロの道のりを引率者5人に導かれてやってきた。学生ラウンジ南側の庭にある大きな木の下でリュックサックを下すと、半日陰の木立の中の芝生で、かけっこや松ぼっくり集めなどを楽



中庭の芝生で遊ぶ子供たち

現在、歯科医療は従来の治療から予防と管理、さらに口腔健康から全身健康へ変化し、基礎疾患をもたない患者の歯・歯周組織を対象とした健康者型治療から、治療のリスク・難度の増加した高齢者型治療へと変化することが求められています。

このような状況の中で、歯周病は口腔という局所の感染症と捉えるだけでなく、全身に対する歯周ポケットからの持続的な慢性炎症性疾患としても捉えられます。歯周病と全身疾患の因果関係、関連性に関しては、歯



また、高齢者に対する歯周病治療は、高齢者になってからの対応だけでなく、幼児期から高齢者になることを見据えて対応することが必要です。現在まで

現在、8020運動等の啓蒙活動により80歳で20本以上の歯が残っている人（8020運動達成者）の割合は、平成28年歯科疾患実態調査において51・2%となり、今後も増加することが推測されます。しかし、現在歯に4ミリ以上の歯周ポケットを有する75歳以上の高齢者の割合も8020達成者率と比例して増加しています。

未だ世界のどの国も経験したことのない超高齢社会が到来し、この分野で世界を牽引するわが国にとって、要介護予防による健康寿命の延伸は医療の最重要課題です。

Matsumoto Dental University SNS Information

LINE

twitter

Instagram

facebook

人事異動

4月1日付

樋口 大輔（口腔インフラントセンター長兼務）

6月行事予定

3日（土） 解剖諸霊位慰霊祭

10日（土） 一日体験入学（衛生学院）

18日（日） 一日体験入学（歯学部）

19日（月） 1期試験（第5学年）

写真部

5月1日付

山口 葉子（講師「東京医科歯科大学」）

（第5学年）

写真部

5月1日付

山口 葉子（講師「東京医科歯科大学」）

（第5学年）

写真部

5月1日付

山口 葉子（講師「東京医科歯科大学」）

（第5学年）

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 6月18日（日） ② 7月 2日（日）

③ 7月23日（日） ④ 7月30日（日）

※6・7月開催分のみ掲載

開催時間 9:30～15:00（受付9:00～）

●キャンパスツアー ●ランチ体験

●模範実習 ●入試説明 ●進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページまたは下記までご連絡ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210

松本歯科大学 入試広報室

www.mdu.ac.jp